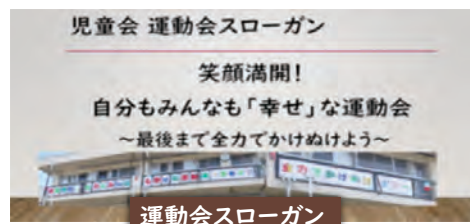


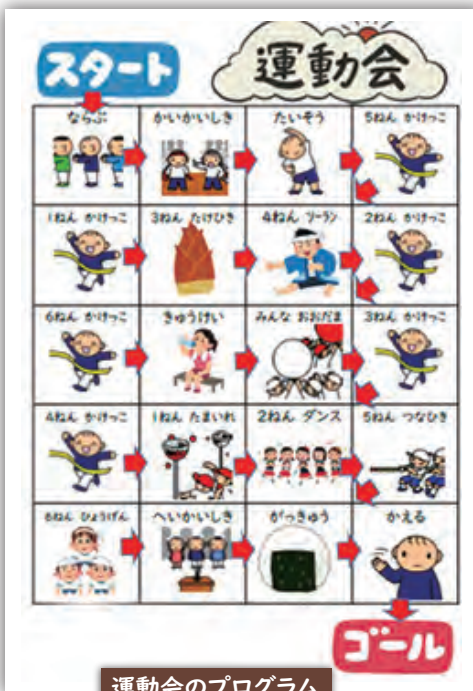
学校の『ふつつ』をアップデート！



左は、今年の中洲小学校の運動会スローガンです。このスローガンは、子どもたちの願い「笑顔が校庭いっぱい広がってほしい」「自分もみんなも幸せな運動会にしてほしい」から生まれました。そして、自分もみんなも「幸せ」な運動会を目指し、学校の「ふつつ」をアップデートしていきました。

まず、運動会プログラムです。文字ばかりのプログラムでは読み取りにくい児童や外国籍の児童にわかるようにと、特別支援学級の先生方が「運動会すごろく」を作りました。視覚的に流れがイメージしやすいことから、廊下に貼り出したところ、そこを通りがかった子どもたちが矢印をたどりながら楽しそうに話をしていました。そこで、全員に配る運動会プログラムをこの「運動会すごろく」にしました。すると、スタートからゴールまで、矢印をたどって何度も確認する児童がみられ、どの子も自然に運動会の流れがわかり当日を迎えました。

さらに、「ワクワクパワー表」を廊下に掲示し、自分や友だちが楽しみにしていることや頑張っていること、大事にしていることに自由にシールを貼ることにしました。すると、視覚化されることにより、運動会への思いが共有され、わくわく感や期待感がどの子にも高まりました。



「大玉送り」が6年ぶりに復活し、子どもたちの感想には、「今年のスローガンのように最後まで全力で走りぬけて、とても楽しい運動会でした。」という声も聞かれました。

中洲小では、「自分と友だちのよさを知る～自分もみんなも『幸せ』～」を学校の行動目標にして、「インクルーシブ教育」※に取り組んでいます。特別に配慮していたことを全校の「ふつつ」にアップデートしています。

私にとっての「ふつつ」は、誰にとっても「ふつつ」でしょうか。そもそも「ふつつ」とはどんなことでしょうか。社会全体で「ふつつ」を問い、「ふつつアップデート」が広がることを期待します。

※インクルーシブ教育：【第二次諏訪市教育振興基本計画より】すべての学習者の多様性を前提とし、障がいのある者となない者が共に学ぶなど、多様な児童生徒の教育を受ける権利を地域の学校で保障するために、教育システムそのものを改革するプロセスのこと。

チャレンジショップ2025 今年度は、城南小学校体育館で開催します！

1 日 時：12月20日（土）10:00～12:00

2 会 場：城南小学校体育館

3 駐車場：諏訪市役所駐車場や城南小学校校庭、その他周辺施設の駐車場を確保します。

昨年度までに増して、児童生徒にとって充実した学びの場となるよう地域の皆様にもご協力願えればと考えています。多くの皆様のご来場をお待ちしております。



未来創造

2025/10/1

あ・ア・う・ん だ・よ・り

ま な び え が お じ り つ

編集発行：諏訪市教育委員会 教育総務課



地域とともにある学校づくりの推進

～ コミュニティ・スクールに関わる活動から ～

令和5年度から「支援から共創へ」をキャッチフレーズとして始まった、新たな形のコミュニティ・スクール※も3年目を迎え、地域と学校が連携・参画した学校づくりや地域学校協働活動の充実に向けて少しずつ歩みを進めています。

※保護者や地域住民等の代表が参画する「学校運営協議会」を設置し、地域と学校が目標や課題を共有しながら学校運営に携わる仕組みのこと



防災（避難所体験型）ワークショップの開催（7月）

外部講師を招聘し、学校職員・市役所職員・CSコーディネーターが参加して、各中学校区の防災について話し合いました。

「未来創造ゆめスクールプラン ゆめスクールフォーラム」を開催（5月）

各中学校区代表の教頭がパネリストになり、特色ある小中一貫教育や地域と連携した教育活動の取り組みについて発表しました。



パネリストの発表をもとに、学校の関係者、地域の方々が各中学校区に分かれて、地域とともにある学校づくりについて話し合いました。



子ども食堂の支援ボランティアとして活躍する子どもたち（上諏訪中）



水曜日の放課後に地域の方々と共に学ぶ「CSラボ」の活動で、クラフトテープの籠づくりに挑戦する子どもたち（諏訪中）



公民館の文化祭の子ども祭りて、企画運営に携わる子どもたち（中洲小）



有賀城址に出掛け、のろしや竹ぼら体験に参加するとよだつ子未来探検隊の子どもたち（豊田小）

諏訪市の教育大綱

誰もが輝き 誰もが幸せ
新たな時代を切り拓き つながり続ける

学びの和

諏訪市では、これからの時代を担う子どもたちの学びが更に深まり、自分らしさを発揮しながら楽しい学校生活が送れるよう、次の3つのプラン、3つの重点活動を掲げて取り組んでいます。

- 3つのプラン 1 認めあいプラン 2 支えあいプラン 3 学びあいプラン
- 3つの重点活動 1 読書活動・読書会活動 2 人権・平和教育 3 地域と一体になった防災教育・安全教育



“私たちがつくる、諏訪の未来”を創造しよう！ 「子どもゆめプロジェクト」第3期の活動がスタートしました！

フィールドワークを通して、自分の「問い」を立てる！

●「今日の活動を通してSDGsについての理解を深められてよかったです。そして、自己紹介やキックオフイベントで、ゆめプロのメンバーやサポーター、アドバイザーの人たちとも交流が深められたのもっと中身を深めていきたいです。これから自分の提言について具体的に考えていき、しっかり提言ができるように頑張りたいです。」(小6)

●「貧困やジェンダー平等などについてよく考えられたし、自然のことについても自分にかかわりがあると思った。これからの活動も頑張りたい。」(小5)

令和7年度の活動が、5月17日(土)すわっチャオでのキックオフイベントをかわきりに始まりました。本年度は、11月末の市長・教育長への提言も含め、全15回の活動プログラムに沿って実施してきています。今年は特に、メンバー一人一人の「問い」を立てる場としてのフィールドワークを充実すべく、毎回の活動の後半には、ワークショップ(活動のフィードバック)でそれぞれの疑問や課題等を共有する時間を取り入れるなど、活動内容にも工夫をこらしてきています。

メンバー9名、高校生・大学生サポーター・アドバイザーと共にキックオフ！



5/17(土) すわっチャオ

私たちのまち“すわ”を観る



6/7(土) 大見山展望台

全体テーマ「私たちがつくる 諏訪の未来」

- 探究の視点
- 1 水と緑があふれる豊かな環境をつくるまち
 - 2 ゼロカーボンシティとして資源を大切にできるまち
 - 3 人と環境にやさしい“ものづくり”の情熱があふれるまち



6/21(土) 霧ヶ峰を歩く

ワークショップで疑問・課題を共有



6/28(土) 諏訪湖を体験する

湖上でのヒシの除去作業



7/25(金) 企業でのSDGsの取組

ガラスの不思議にふれる※1



水の大切さを学ぶ※2



美味しい甘酒の試飲※2



甘い香りたてようパックヤード※3



木炭電池づくりに挑戦※4
8/6(木) 大学のキャンパスで科学を楽しむ

※1 SUWA ガラスの里 ※2 宮坂醸造 ※3 名取鶏卵(なとりさんちのたまご工房) ※4 公立諏訪東京理科大学

今後の予定

- 探究活動：提言に向けての調査研究、情報収集、プレゼン準備など
- 市長、教育長への提言：11/29[土] 13:30～ 諏訪市役所大会議室にて



～フリースクール・居場所等の活動を共有しよう！～ 学びの支援「よりそう」交流会



7月30日(水)、諏訪地区学びの支援ネットワーク主催による「学びの支援『よりそう』交流会」が6市町村の学校関係者、保護者、フリースクール・居場所等スタッフ、教育委員会担当者など、およそ60人が集まり開催されました。「信州フリースクール居場所等運営者連絡協議会」代表村上陽一さんの基調講演に続き、フリースクール、居場所等のうち5つの団体から特色ある取り組みが発表されました。



子ども・若者STEPハウス



みんなの居場所ゆめひろ



みんなのお家すまいる



NIJINアカデミー

野外での体験活動やボードゲーム大会、制作活動や学習活動など、それぞれ特色ある取り組みが紹介されました。子ども・若者STEPハウスの発表では、中学生が授業の一環としてフリースクールを訪れ、クッキーづくりや対話による交流が行われたことなど、これまでにない活動も報告されました。



子どもサポートチームすわ

続いて、「岡谷・下諏訪・諏訪の学びの支援関係者懇談会」が行われ、グループでの協議を通して、連携・支援について意見交換を行いました。

参加された学校職員からは、「保護者と連携しながら、子どもの状況に応じて、どのような支援が必要か、どのような居場所があるのか、ときに学びの支援サポートブック『よりそう』※を活用して各市町村やフリースクール・居場所等へ繋いでいくことが大切になる。」などの意見が寄せられました。

※「よりそう」(諏訪市版)



第2回 学びの支援「よりそう」交流会 開催予定(予告)

11月6日(木)14時30分～

「駅前交流テラス すわっチャオ」3階 会議室

多くの保護者・地域の皆さまのご来場をお待ちしています！

問合せ先 諏訪市役所教育総務課(☎ 75-8150)

最先端の技術や企業の工夫・努力を熱心に見学 ～諏訪圏工業メッセ2025～

今年は、会場である岡谷市民総合体育館の都合により6月26日(木)～28日(土)に開催されました。児童生徒は、諏訪地域をはじめ全国から集った企業のブースを熱心に見学し、先端技術のすごさやすばらしさに触れ、自らたくさん質問をする姿が多くみられました。ものづくりへの興味や関心を一層高めるとともに、企業の努力や工夫を具体的に知り、諏訪への誇りと愛着心を一層高めました。



見学の様子

●扱う物が違っても、大切にしているのは、相手側の気持ちで思いやりがあった。作り方を工夫してSDGsで未来に貢献している企業、一方で、受け継ぐ若手がおらず課題のある企業もあった。どの会社も、会社を想い、相手を想い、工夫して努力を重ね、日々仕事にはげんでいることが伝わってきた。(小5)

●諏訪圏には超精密な技術などがあるが、人が注目するようなヘッドホンなどの日常で見かけるようなものを作っているところもあったし、時計の中の米粒より小さいものを作っているところもあり、ものづくりへの興味が一段と高まった。(中2)